

横浜市中心卸売市場が国内外へ販路開拓！ アジア最大級展示会「FOODEX JAPAN 2026」に出展します！

横浜市中心卸売市場は、国内外への販路拡大を支援するため、アジア最大級の食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN 2026」に3回目の出展を行います。

今回は牡蠣専門業者を新たに加え、横浜市中心卸売市場を紹介するブースも新たに設置します。2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」への機運醸造とともに、PRや商談を通じて“世界に開かれた横浜市場”としての認知向上と販路拡大を目指します。

1 「FOODEX JAPAN 2026」（第51回国際食品・飲料展）の概要

- (1) 会 期：2026（令和8）年3月10日（火）～3月13日（金）
- (2) 会 場：東京ビッグサイト
- (3) 主 催：一般社団法人日本能率協会（JMA）他
- (4) 昨年実績：出展者数2,930社、来場者数延べ72,151名



2 横浜市中心卸売市場ブース概要

- (1) 出展カテゴリ：全国食品博
- (2) 出 展 小 間：南3ホール / 【S3-Q17】
- (3) 出展する市場事業者：6社

① 坪倉商店株式会社（水産物部仲卸業者）	
横浜市中心卸売市場でこだわりの鮮魚を扱い、横浜・都内の鮭店や和洋中の飲食店へ卸売しています。鮮魚以外にも干物や塩蔵品など幅広い商品を揃え、スーパーや魚屋、居酒屋まで多業態に幅広く対応しています。	
② 有限会社角太商店（水産物部仲卸業者）	
目鉢鮭の赤身に拘りを持っている、まぐろ一筋30年以上の専門店です。多くの荷主との繋がりにより、お客様のニーズに合ったものをご提案します。各種イベント等で解体ショーを行うなど、フットワークも軽い会社です。	
③ 日本石花株式会社（水産物部仲卸業者）	
牡蠣専門仲卸として、日本・海外産の牡蠣を通年20～30種類扱っています。神奈川・東京23区は市場共同配送便にて当日配送、他地域にも宅配便にて対応します。海外輸出にも対応しています。Exporting Fresh seafoods.	

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



<p>④ 横浜市場水産株式会社（水産物部仲卸業者）</p> <p>8種の野菜を丁寧に煮出し、唯一の調味料は塩のみのからだ想いの無添加スープです。飲むだけでも手軽に栄養補給でき、料理のベーススープとしても幅広くお使いいただけるスープは、海外でも高い評価を受けております。</p>	
<p>⑤ 丸秋青果株式会社（青果部仲卸業者）</p> <p>「旬のフルーツ・野菜」を長年培った経験と目利きで産地や品種を厳選し、小ロット多品種に詰め合わせてご提供しています。また、独自の調達ルートを活かし、産地から直接お届けすることも可能です。</p>	
<p>⑥ 株式会社萬金商店（関連事業者）</p> <p>明治27年創業の伝統の味を今に伝える海苔問屋です。全国より仕入れた海苔を多数取り揃えています。ご要望に応じてご利用しやすい形に加工して提供することも可能です。出川哲朗の元気のりのりの販売元です。</p>	

(4) 横浜市中央卸売市場ブース詳細ページ（公式HP）

https://www.jma-tradeshow.com/foodex/webguide_jp/company.php?no=348

(5) 昨年度出展時の様子



市場から旬の野菜、果物を提供



専門店の生まぐろ、本マグロ



近海の海鮮やウニ等塩蔵品

3 横浜市中央卸売市場（本場）について

日本で3番目、東日本で最初に開設された90年以上の歴史を持ち、長年にわたり地域の食文化と流通を支えてきた青果、水産市場です。水産ではマイナス50℃のマグロ冷凍庫や活魚水槽などの高度な水産関連設備を備え、大規模な水産物流通を可能にしています。

市場開放や見学ツアーなど、市民に開かれた運営を行い、一般客が市場文化に触れられる機会を多く提供する等、横浜の魅力、市場の魅力を伝える活動も行われています。

4 取材対応 ※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

希望される方は、令和8年3月6日（金）正午までに下記問合せ先へご連絡ください。

お問合せ先			
経済局	中央卸売市場本場	経営支援課長	三浦 武志 Tel 045-459-3331



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

